

宮本三郎と

連載小説

二〇二〇年十二月四日(土)▼
二〇二一年三月二十二日(月・祝)

世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒二五八-〇〇八三

東京都世田谷区奥沢五-三三-十三

電話：〇三-五四八三-三八三六

http://www.miyamotosaburo-anex.jp/

●東急大井町線 東横線「自由が丘」駅 徒歩七分／東急大井町線「九品仏」駅 徒歩八分／東急目黒線「奥沢」駅 徒歩八分

●開館時間：午前十時～午後六時(入館は午後五時三十分)／休館日：毎週月曜日(ただし祝日の場合は開館、翌日休館)／年末年始

※(一)内は二〇名以上の団体料金。二般(二〇〇円(六〇円)／大・高生 五〇円(二〇円)／六五歳以上・小学生(一〇〇円(八〇円))

者(大学生以下)と介助の方(障害者の方)につき「二名」は無料。障害者の方(一般六五歳以上)は、一〇〇円となります。障害



宮本三郎と連載小説

戦後、第二紀会を結成するなど、洋画界で牽引的な役割を果たした宮本三郎（一九〇五—一九七四）は、挿絵の名手でもありました。戦時下、宮本の戦争記録画は人々から大きな関心を集めました。それが並行するように宮本は、昭和一〇年代から戦後の四〇年代にかけて、週刊誌や新聞に数多くの挿絵を描いています。小説家の生み出した物語中の登場人物は、宮本の絵筆によって具体的なイメージとなって立ちあらわれ、読者の関心を大いに喚起しました。今回は、獅子文六の小説『大番』（『週刊朝日』連載、一九五六年〜五八年）に寄せた挿絵の原画を初めてご紹介することに、宮本が挿絵を描いている連載小説の切り抜き

を収めた当時のスクラップブックも展示し、宮本三郎と連載小説のかかわりを幅広く紹介します。

昭和初期を舞台にして始まる『大番』は、赤羽丑之助、通称ギューちゃんの破天荒な生涯を描いた大衆小説です。全百十一回に上る連載の中で、宮本はギューちゃんの少年期から晩年までを描くことになるのですが、連載の途中で興味深いことを語っています。

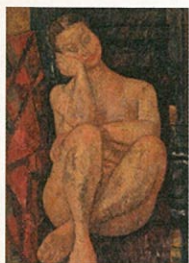
「読者は多分、もう丑之助君とは、私の描いた人相から切り離して、他の人間像を想像することは出来ないかと思う。実のところ、私自身も、自分が描き出した人

間像を、今はそのままに丑之助君だと信じていて、それに運命の浮沈があったり、年齢を重ねることで、そこに、わずかなづつの変化が現われてゆく、そういう風に、一個の生きた人間として、時々刻々の転機を見つめながら、描いてゆくという気持ちになって来ている。」（宮本三郎『大番』番外、『週刊朝日』一九五七年五月一九日号）

この言葉から、宮本が、挿絵の制作にきわめて高い意識を行使させていたことがわかります。そして、宮本の作画は、小説の内容に合わせ実に様々に変化しています。本展では、そのような宮本による挿絵と同時代の油彩作品を合わせて展示することで、宮本三郎の仕事の幅広さと、活きいきとした絵筆の痕跡をお楽しみいただきたいと思います。



《大番》（第1話）1956年



《裸婦》1957年



《乳牛》1958年



スクラップブック

関連イベント

講演会「画家と挿絵」〈講師：諏訪敦〉 シリーズ「作り手から見た宮本三郎」第5回

独自の写実表現の追求で知られる画家の諏訪敦氏をお呼びします。諏訪氏は小説家・古井由吉氏の連載エッセイ「楽天の日々」（『毎日新聞』、2008年～2010年）に毎月挿絵を寄せた経験があり、今回は画家としての挿絵についてお話を伺います。

- 講師：諏訪敦（1967年生まれ／画家） HP：http://members.jcom.home.ne.jp/atsushisuwa/
- 日時：2011年3月12日（土） 14：00～15：30（13：30開場） ■ 参加費：500円
- 定員：50名（事前申込制／詳細は、ホームページなどでご確認ください）

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 5-38-13

電話：03-5483-3836

www.miyamotosaburo-annex.jp/

東急大井町線・東横線「自由が丘」駅 徒歩7分

東急大井町線「九品仏」駅 徒歩8分

東急目黒線「奥沢」駅 徒歩8分



本館情報

世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園 1-2

電話 03-3415-6011（代） ハローダイヤル 03-5777-8600

www.setagayaartmuseum.or.jp（詳細は、ホームページなどでご確認ください。）

企画展

「橋本平八と北園克衛展」 10月23日（土）～12月12日（日）

「佐藤忠良展」 12月23日（木・祝）～2011年3月6日（日）

「生誕100年特別展 白洲正子 神と仏、自然への祈り」 2011年3月19日（土）～5月8日（日）

ミュージアム コレクション

Ⅱ「小堀四郎と鶴外の娘 ひと筋の道」 9月15日（水）～2011年1月10日（月・祝）

Ⅲ「保田春彦—デッサンによる人間探求」 2011年1月20日（木）～4月10日（日）

分館情報

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 世田谷区弦巻 2-5-1 TEL. 03-5450-9581

www.mukaijunkichi-annex.jp

「雨後・雪意 向井潤吉が描いた雨の道、雪の村」

12月4日（土）～2011年3月21日（月・祝）

（開市）1974年▶



清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城 2-22-17 TEL. 03-3416-1202

www.kiyokawataiji-annex.jp

「色と形のシンフォニー」

12月4日（土）～2011年3月21日（月・祝）

（Painting No.497）1997年▶

